

## 世界のビール事情

### 1. 世界全体のビール市場

2012年の世界全体のビール生産量は前年比0.9%増の約1億9070万キロリットルで、東京ドーム154杯分に相当します。日本やヨーロッパの先進国での生産量が減少傾向にあるのに対し、アジアや中南米の新興国での経済成長に伴う生産量の増加で、世界全体では28年間連続で生産量は増加しています。日本やヨーロッパで生産が減っているのは、少子高齢化や、若者の酒離れ、酎ハイ（世界的にはRTD：Ready to drink といひ、スミノフアイスやバカルディソーダなどがあります）などアルコール飲料の多様化が進んだことの影響が大きいです。

国別の生産量では 1位は中国、2位はアメリカ、3位はブラジルで日本は7位になります。

詳しい統計資料は下記のリンクを参照してください。

[http://www.kirin.co.jp/company/news/2013/0822\\_01.html](http://www.kirin.co.jp/company/news/2013/0822_01.html)

### 2. 世界の主なビール会社

先進国市場での需要の減少や、成長する新興国市場への進出を狙い、この約10年間で世界の主要ビール会社はM&Aを繰り返し、現在は世界シェアの半分以上を4つの大きな企業グループが占める様になりました。

順位	会社名	本社	数量（万 KL）	主なブランド
1	Anheuser Busch InBev	ベルギー	3,500	Budweiser, Corona
2	SAB Miller	イギリス	2,500	Miller, Foster's
3	Heineken	オランダ	2,000	Heineken, Tiger
4	Carlsberg	デンマーク	1,200	Carlsberg, Kronenbourg

(※) 数量は2010年のPlato Logic社の調査、基準をもとにした概算推計値

アメリカの2大ブランドであるバドもミラーも世界的な M&A の嵐の中で、ヨーロッパ資本の会社の傘下になってしまいました。

それ以下の順位はグループ会社の資本比率の計算方法によって異なります。有名な中国の青島ビールが5位につけている様ですが、数量は4位 Carlsberg の半分程度です。2010年時点では日本のキリンとアサヒは8位から10位くらいの間位置していると推測されます。

キリンもオーストラリアのライオン、フィリピンのサンミゲル、ブラジルのスキンカリオールという、それぞれの国で1位か2位に位置する会社への買収や資本参加を行い、ブラジルの買収は2011年でしたので、2010年よりはランクが上がっていると思われませんが、それでもトータルの数量は4位 Carlsberg の半分以下の水準です。

ビール業界は、世界の産業界の中でも最も大きく国際的な再編が進んだ業界のひとつであるということをご理解いただければと思います。

(小澤 徹)